

トビイロウンカによる坪枯れ発生！

岡山県中南部地域でトビイロウンカによる坪枯れを確認しました（写真1）。現在のところ、被害発生圃場は少ないものの、今後、中生品種及び晩生品種の栽培圃場で本虫（写真2）の発生が多い場合、坪枯れ等の被害が発生する可能性があります。9月8日の広島地方気象台発表の季節予報によると、今後1か月の気象条件は、気温が平年より高く、本虫の増殖を助長する条件であることから、それぞれの栽培圃場において、今後の発生状況に注意してください。

<防除対策>

1. 要防除水準（成幼虫合計で株当たり10頭以上又は短翅型雌成虫で株当たり0.2頭以上）に達した圃場では、直ちに防除を実施する。なお、本虫は圃場内で局所的に生息し株元を好むため、調査に当たっては圃場内の複数か所で、できるだけ多くの株の株元までよく観察する。
2. 農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守し、表の単剤あるいはその成分を含有する混合剤を安全・適正に使用する。また、散布に当たっては薬剤が株元まで十分到達するよう留意する。
3. 収穫期が近い圃場での、薬剤散布は、特に農薬使用基準の収穫前日数に注意する。



写真1 坪枯れ（令和4年9月13日撮影）



写真2 株元に発生したトビイロウンカ
（令和4年9月13日撮影）

表 水稲におけるトビイロウンカの主な防除薬剤 (令和4年9月14日現在)

薬 剤 名	農 薬 使 用 基 準			IRAC コード
	使用時期	本剤の使用 回数	使用濃度・使用量	
キラップフロアブル キラップ粉剤DL	収穫14日前まで 収穫14日前まで	2回以内	1,000～2,000倍 3～4kg/10a	2B
トレボンEW ¹⁾ トレボン乳剤 ¹⁾ トレボン粉剤DL ¹⁾	収穫14日前まで 収穫14日前まで 収穫7日前まで	3回以内	1,000倍 1,000～2,000倍 3～4kg/10a	3A
MR. ジョーカー EW ¹⁾ MR. ジョーカー粉剤DL ¹⁾	収穫14日前まで 収穫7日前まで	2回以内	2,000倍 3～4kg/10a	
スタークル・アルバリン粉剤DL スタークル・アルバリン顆粒水溶剤 スタークル豆つぶ スタークル・アルバリン粒剤	収穫7日前まで 収穫7日前まで 収穫7日前まで 収穫7日前まで	3回以内	3kg/10a 3,000倍 250～500g/10a 3kg/10a	4A
エクシードフロアブル エクシード粉剤DL	収穫7日前まで 収穫7日前まで	3回以内	2,000倍 3kg/10a	4C
エミリアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍	4F

¹⁾ の薬剤は水産動植物に対する危害が発生しやすい地域および発生するおそれのある地域では使用しない。

農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、農薬飛散に注意するなど、安全・適正に使用するようお願いします。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。
アドレスは、<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/> です。

